

代 表 質 問
み ら い

議会事務局 処 理 欄	令和3年5月12日14時00分 受付
	質 問 順 位 第 2 番

武豊町議会議長 石原 寿朗 殿

武豊町議会議員 福本 貴久

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和3年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 靱山芳輝町長の5期目について	<p>【趣旨説明】</p> <p>靱山芳輝町長は、令和3年4月13日告示の武豊町長選挙に立候補され、5期目の当選を果たされた。5期目も引き続き靱山町長のリーダーシップに大いに期待するところである。昨年の12月議会には、令和3年度から令和12年度の武豊町の目指すべき将来像や施策の基本方針ともなる第6次総合計画が可決された。この総合計画と靱山町長が選挙で示された公約を軸に、これから町政運営に当られると思う。</p> <p>靱山町長は今回の選挙公約で下記の内容を掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全で安心できるまち <ul style="list-style-type: none"> 防災コミュニティセンターの新築準備：防災学習、避難所活用、地域コミュニティの醸成など 新型コロナウイルス感染症対策の充実：支援活動、避難所整備の充実、パーティション整備など 高齢者の保健事業と介護予防強化：健康寿命延伸の健康事業、フレイル予防など 住民と行政との協働のまち <ul style="list-style-type: none"> 少年、少女発明クラブの新設：こどものひらめきの発掘、地域事業所との協働など 各種ボランティア団体の育成、支援：防災・防犯・交通安全活動、環境活動など 地域交流イベントの支援：地域の絆強化策、経済強化策など 暮らしやすいまち <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル脱炭素社会の推進：実施計画の策定、町民・事業所・行政と一体化など ウォークアブルなまちづくり：緑化推進事業、交流拠点整備など エコステーションの新設：環境対策充実、エコなまちづくりなど 教育環境の充実と子育てがしやすいまち <ul style="list-style-type: none"> 全小中学校体育館に空調施設の整備：教育環境の更なる充実、部活動の育成など 学校給食センターの新築：約4千食対応規模、安全安心な給食の提供など 子どもサポート体制の充実：あおぞら園含み東大高保育園新築、子ども家庭総合支援拠点設置事業など 都市基盤の整備と活力あるまち <ul style="list-style-type: none"> インフラの充実：道路整備計画、雨水排水計画の策定、具現化など みゆき通りの整備：無電柱化計画、ラウンドアバウト(円形交差点)推進など 産業系土地利用の具現化：駅西、富貴地区など 楽しい生活のできるまち <ul style="list-style-type: none"> SDGsの推進：教育・環境・福祉など誰一人取り残さない施策展開など 庁舎等公共施設の移転、建て替え：住民意見を捉えベストな配置、設置など 地域交流施設の観光拠点化：転車台・「味の蔵たけとよ」・クリーンセンター・温水プールの社会見学、一体的活用など <p>以上の選挙公約の中から抜粋して、以下質問する。</p>

【質問事項】

- ①安全で安心できるまちの中から、防災コミュニティセンターの新設準備について、現在の半田消防署武豊支署を防災公園南の公共用地に移転する計画が進められており、議会としても調査研究をしている。町民の生命と財産を守る施設であり、今後約40年から50年間使用することから妥協せず、いま現在考えられる最先端の消防支署にすべきだと考えるがどうか。
- ②住民と行政との協働のまちの中から、地域交流イベントの支援について、新型コロナウイルス感染症の影響により、本町の事業・各地域の事業、イベントや祭りが中止や縮小され、現状では町民の交流やふれあいが難しい状況にある。地域の絆の強化や町内の経済強化などを補完する施策も必要だと考えるがどうか。
- ③暮らしやすいまちの中から、ウォーカブルなまちづくりについて、緑化推進事業、交流拠点整備などがあるが、具体的にどのようなまちづくりを想像しているのか。
- ④教育環境の充実と子育てがしやすいまちの中から、全小中学校体育館に空調施設の整備について、特に夏場は温暖化の影響等により各学校の体育館内は温室のようになり、そこで授業を受ける児童・生徒の健康を脅かすおそれもある。また、避難所としても指定されており、空調の設置は教育現場や町民の皆様からも熱望されている。実現に向け早期に計画を立てて行くべきだと考えるがどうか。
- ⑤都市基盤の整備と活力あるまちの中から、産業系土地利用の具現化について、現在本町が行っている行政サービスの維持や拡充を図るには、安定的で恒久的な財源確保が必要である。また新たな産業が生み出されることにより、町内の雇用創出も期待されることから、積極果敢にチャレンジして行くべきと考えるがどうか。
- ⑥楽しい生活のできるまちの中から、地域交流施設の観光拠点化について、地域交流施設や味の蔵周辺では、令和4年4月から、クリーンセンター(ゆめくりん)や屋内温水プールが供用開始されることにより、多方面から注目を集めている。またこの周辺には優れた技術を持つ大手企業も操業しており、環境・健康・技術と本町をPRできる一大拠点となることも期待されている。この期を逃すことなく、例えば臨海部一帯で操業する企業の工場見学や人々が集まり魅力あるエリアの創出等ができるような設えを官民一体となり、調査研究をしてはどうか。